

箱根組ニュース

第368号 2023年 12月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

石老山山頂からの富士山に見とれる4人、夕暮れの湖面を滑る相模湖のボートも楽しむ！

11月19日(日)、京王線新宿駅7時9分発の特急高尾山口行きに乗り込む。高尾で8時9分発のJR甲府行きに乗り換え、相模湖駅に8時18分着。

降り立ったのは、奥村、ずいぶん久しぶりの奥村の友人の溝口、戸丸の3名。改札を出て、三ヶ木行き(湖21)のバス停に向かうと先に着いていた西川さんがバス停の先頭に陣取っていた。という訳で今回の参加者は4名。

8時35分発のバスはほぼ満席。途中の相模湖プレジャーフォレストで大勢下車し、次の石老山入口ですべての客が下車しバスは空車で先に向かった。

8時42分にバスを降りた我々は手前の信号から登山道方面西側に入っていく。すぐに赤い欄干の石老山橋を渡る。左側に昔はなかったと思われる石老山入口公衆トイレがあり、そこで身支度と各自ストレッチをする。風もなく穏やかな秋の空気が気持ちいい。紅葉はまだそれほど進んでいないが、あちこちうつすらと赤や黄色が見えている。

9時、奥村さん先頭で歩き出す。すぐにやはり赤い欄干の関口橋を渡る。集落の畑には栗の木も見える。穏やかな里山の景色に心が落ち着く。

9時8分、右側にかなり大きな柚子の木があり大きな実がたくさんついている。左側には大きな横書きの案内看板が立っていて間違いようのない入口だ。柚子の木の下にも縦型の看板がある。車道は大きく左に曲がってゆくが登山道はそのまま集落の中に真っすぐ入っていく。左側は立派な家が建っている。相模原市緑区市議会議員の看板も。すぐに道は右に曲がってゆくがそこには立派なケヤキの木が天を衝いて立っていた。少し左に曲がる車道を進む。雲一つない青空が集落の里山の上に広がっている。

9時13分、左側に看板がある。左、相模湖デイサービスセンター、直進右側200m相模湖病院とある。

9時18分、左側に大きな看板があり、「石老山表参道入口」と書いてある。右側の少し急な階段を上ると相模湖病院



収支	
繰越	21385 円
支出	
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	40 円
現在高	20,845 円

ス、ヒメキンミズヒキ、半鐘蔓等々30ほど並んでいた。仮設橋の下は小さな沢だが水は少ない。道は石を敷き詰めて石畳状に整備されていた。9時28分、滝

の前に出る。左側には登山者用の駐車場もあるようだ。少し行くと「東海自然歩道・石老山・顕鏡寺」の標識がある。9時20分、右側は病院の敷地で水色の門やフェンスに囲われている。そのフェンスに沿って左側を進んでゆく。すぐに仮設の橋を渡ると右側に「石老山周辺に咲く草花」とあり沢山の花の写真がある。イワタバコ、大アザミ、山ホトトギ



不動。岩屋の間に石像があり昔は滝の水も多くここで滝に打たれて身を清めたというが、今、水は少ししか落ちていない。この辺りから次々に大きな岩が現れる。

9時29分、屏風岩。

9時31分、仁王岩（阿吽岩）。

9時37分、駒立岩。高さ11m、横幅17m。千年前、京都の若君と姫君が名馬にまたがりやってきて、岩屋を探している途中、この岩の上で休憩したとか、岩の上に蹄や寝た跡があるらしい。彼らが顕鏡寺を建てたのかもしれない。我々もここでちょっと休憩。

9時46分、顕鏡寺到着。

西暦851年に建てられたという寺だ。岩と鏡にまつわる伝説があるらしい。東南向きの中腹にあるお寺は横に広く、風のないこの日はとても穏やかだった。ゆつくり座って休憩。相模原方面から川崎横浜辺りが見えているようだ。冬桜が咲いていた。津

集合 12月17日（日）
西武池袋線 池袋駅 7:54 発
快速飯能行き（前から3両目車内）
途中駅発

練馬 8:00 石神井公園 8:05 ひばりヶ丘 8:11
東久留米 8:13 清瀬 8:15 秋津 8:17 所沢 8:25
西所沢 8:28 小手指 8:31 狭山ヶ丘 8:33
武蔵藤沢 8:35 稲荷山公園 8:38 入間市 8:40
仏子 8:44 元加治 8:46

飯能着 8:49（乗り換え）8:56 発
各駅停車三峰口行き
高麗着 9:03

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール：satorutomaru@gmail.com

メール：tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

12月17日（日）巾着田芋煮忘年会です。
らくだコース 歩行1時間
高麗駅から巾着田まで歩きます。河原で芋煮と焚火を楽しみます。（希望者は日和田山登山も可能）
※お弁当は要りません。芋煮とうどんを作ります。
○持ち物 芋煮材料（分担）、ポットにお湯、食器、箸、カップ、飲料水、非常食、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、（痛み止めスプレーなど）、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他
※申し込み締め切りは 12月15日（金）
申し込みの時に芋煮の分担をお知らせください。
※参加人数で分量調整が必要、前日土曜日に掲示板で人数を確認してください。
芋煮材料（里芋、こんにゃく、うどん、長ネギ、しめじ、舞茸、焼き豆腐、ごぼう、牛肉、麺つゆ）

久井の名木「蛇木杉」高さ20m、推定400年の杉がある。2本の杉の根が大蛇が寝そべっているように見えるとか。境内にも大きな岩があちこちにある。

10時3分、出発。コースは昔まっすぐだったが、倒木でルートが変わったようで左側から回りこむようになっていた。鐘撞堂の上に戻ると大きな木が倒れていた。建物と近いので被害がなければよかったと思う。

10時12分、道が左右に分かれている。昔の記憶がおぼろげだが昔はなかったと思う右方向のさくら道ハイキングコースを選ぶ。左に行けば八方岩経由で山頂だ。

5分ほどで右側に景色が広がる。お寺からまた少し上がっているし、景色の広がりやまさに展望台だ。すすき越しの山並みと町の景色、色づいた楓のグラデーションも良かった。左に回り込むようにしている山道を進んでゆくと木々の向こう、眼下に相模湖の湖面が見えてくる。あまり人が歩いていないような落ち葉の優しい道は穏やかな気持ちになる。

10時37分、八方岩ルートと合流する。

10時49分、融合平見晴台。ベンチとテーブルがある。少し前に出ると相模湖がよく見える。

少し急な道を登り、いくつかのピークを越え尾根道に出る。その尾根を左ですぐに山頂だ。

11時35分、石老山山頂に到着。人気の山らしくたくさんの人たちが休憩している。山頂の標識付近からくつきりと富士山が見えていて感動する。

半分富士山の見えるベンチが空いたので4人で座る。少しだけビール、持参のお弁当。お湯を沸かしてインスタント味噌汁とドリップコーヒーで昼食。ゆっくりと山頂を楽しむ。1時過ぎて記念撮影。登山客はほとんど降りてしまった。

1時25分、下山開始。大明神展望台を目指して降りてゆく。まずは植林地を下り、自然林になると所々で赤い紅葉が見られる。薄紫の可愛いリンドウも咲いていた。

2時11分、大明神。ほぼ予定通りの時間だ。大明神と言いながら赤い小さな可愛い祠があるだけだった。

2時22分、大明神展望台着。相模湖と向かいの山がよく見える。少し下ると道は二股に分かれるが標識は左の新しい道へ誘導している。昔はこの道はなかったが荒れてきて新しく作ったようだ。しかし我々は今回昔の道を下ることにした。倒木の跡や岩が多く少し歩きにくい、登山道という表示も、赤い案内テ

ープもあり、それほど問題なく降りられた。ただし手ごたえは十分だった。

3時5分、公衆トイレ着。電気はなく薄暗かった。

3時35分、プレジャーフォレストバス停着。バスで戻る西川さんとはここでお別れ。残る3人は一つ先のバス停まで歩いてそこから船着き場に降りる。小さなボートから大きなボートに乗り継いで相模湖の船着き場到着。

坂道を登って、駅前の登山客でいっぱいのお店で、ワカサギのフライと生ビールで乾杯。



